

8-2. 施設配置に向けた着眼点 (いこいの広場)



横断歩道と連続性をもった公園出入口の整備



緑に囲まれた野外ステージの観客席の見直し



街への眺望が活かされる広場への整備



大きく生長した樹木で覆われた森の整理



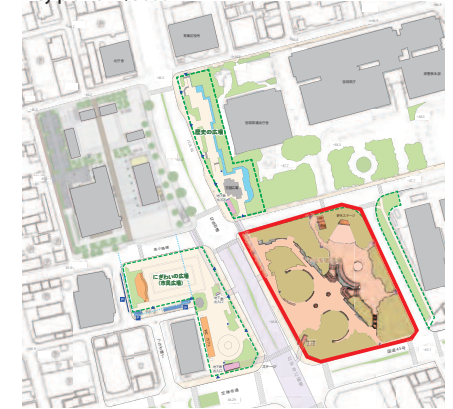
あまり利用されていない水路沿いの園路



公園への誘導性を生み出す植栽の整理

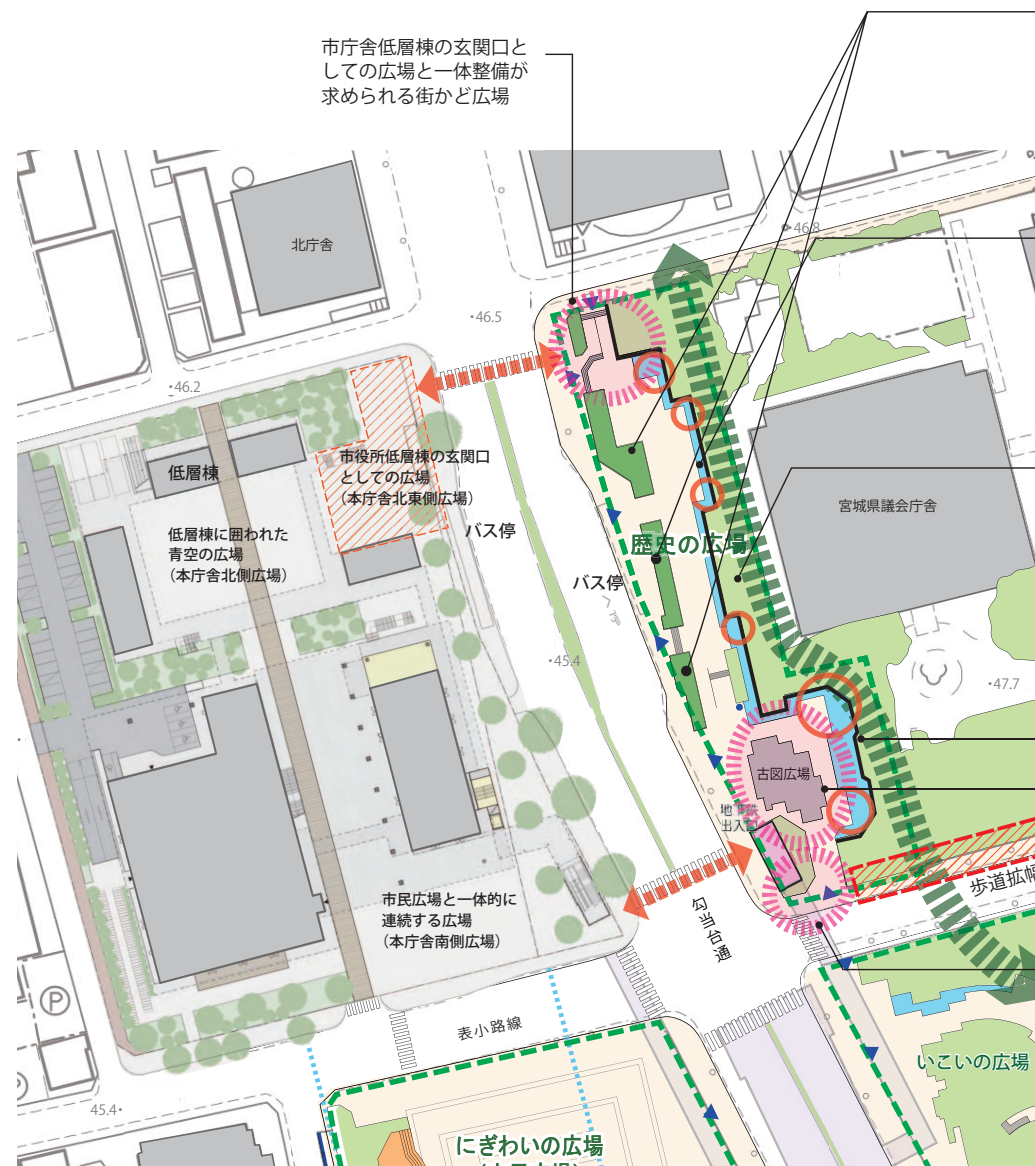


key plan S=1/5000



段丘のみどり軸と直交するように設定された彫像・壁泉・噴水の配置軸線や、ステージ・円形花壇の配置軸があるが、公園風景構成や動線に配慮した空間構成軸の再構築が望まれる。

8-3. 施設配置に向けた着眼点 (歴史の広場)



市庁舎低層棟の玄関口としての広場と一体整備が求められる街かど広場

市役所低層棟の玄関口としての広場  
(本庁舎北東側広場)

低層棟  
低層棟に囲われた青空の広場  
(本庁舎北側広場)

市民広場と一体的に連続する広場  
(本庁舎南側広場)

凡例

○ 小さい滞留空間が出来るアルコーブ

オフィスワーカーの往来が多い空間  
歩道との一体感を生み出す植栽帯の整理



水景施設として使われていない流れ



背後の緑と一体となって地区の緑の骨格をつくり出している植栽

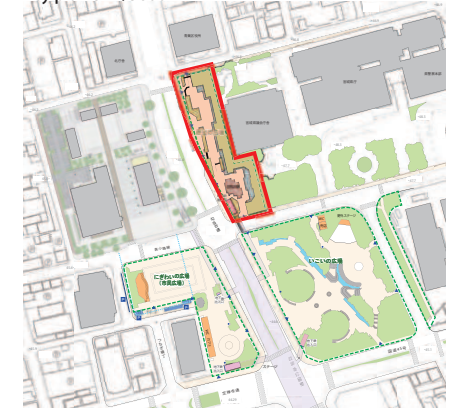


・斜面段丘地形の名残りをとどめる石垣  
・広場としての利活用が期待される場所



歩道拡幅に合わせた街かど広場の整備

key plan S=1/5000



- ・帯状の細長い敷地形状で、主に通路空間として利用されている。
- ・段丘の地形差を活かした南北に長い石垣が特徴的で、その背後の緑は、いこいの広場へと連なり、段丘のみどり軸をつくり出している。
- ・通り(歩道)との間に石垣で囲まれた植栽地が設けられているため、広場と通り(景観と動線)の一体性が増すような空間の再構成が望まれる。

9-1. 再整備にあたって留意すべき事項 (植栽)

